

先月号でもご紹介の金沢美術倶楽部100周年記念「金沢 大茶の湯」が無事閉幕しました。今回も引き続き「美のチカラ」です

今日、前田利家に関する茶道具の伝来は非常に少なく、代表的なものがこの「大名物唐物茄子茶入 富士」です。「国司」「北野」とともに天下の三茄子といわれた古くから名高い名品です。姿、釉色ともに格調高く、堂々たる風格を持つ傑出した茄子茶入ということから「富士」の銘が付けられたという。

伝来は足利義輝が所持、曲直瀬道三まなせどうさん、祐乗坊、織田信長、信長没後再び道三に帰り、天正15年(1587)北野大茶湯に出陣、その後道三の孫より秀吉に献じられ、慶長2年(1597)秀吉から利家が拝領し、以後前田家に大切に伝えられた。

常に死と隣り合わせの社会に生きる戦国武将にとって、茶の湯は人間としての真の己を取り戻すための信仰といえる精神修養であり、重要な存在となったことは言うまでもない。また一方で、名物茶器への憧れは、自己誇示という面から、茶の湯執心の大きな要素でもあった。それ故、名物茶器を所持することは、天下人として認められただけでなく、自らの死を予知した秀吉が、利家に自身の亡き後を託したことを示す証左ともいえ、前田家の、この茶入所持には特別な意義が認められる。

仕覆は剣先緞子と段織モールが添えられており、他に八左衛門間道がある。また堆朱草花文丸盆と利休作の茶杓が付属する。内箱蓋表に「富士茄子」と小堀遠州の書付がある。茶杓は、中節で一本樋、節は高く深く削り込まれて蟻腰をなしており、端正な利休茶杓の趣がある。薄作で細身の筒には「利休作」の書付がある。
—美の力石川県立美術館より—
伝来したもので、茶道具における唐物茶入のあり方を示す貴重な資料である。



仕覆・内箱

ちよつといつづく「マメ知識」「加賀前田藩の上屋敷 東京大学本郷キャンパス」

東京大学の本郷キャンパスは加賀前田藩の上屋敷で、大名庭園・育徳園の池は通称「三四郎池」として名高い。明治になり、その敷地の大半は東京大学となるも、前田家は本郷キャンパスの南西隅に広大な邸宅を構えていた。明治38年に和館、明治40年に洋館を竣工し、明治43年の明治天皇の行幸を前に日本庭園を整備した。大正15年前田邸は駒場に移転し敷地と建物は昭和3年に東京大学に寄贈され「懐徳館」と命名され、迎賓館として使用されたが昭和20年の東京大空襲によって焼失。現在の和風建物は昭和26年に再建された。→

この煉瓦の塊 写真①は、平成6年に総合研究資料館の増築に伴う発掘調査で発見された、旧前田侯爵邸(懐徳館)西洋館の基礎の一部である。玄関脇の地下1階の小室部分にあたる。最下の捨てコンクリートの上に煉瓦がしっかりと積み上げられ、中ほどにアスファルトの防水層、床支持材の溝、切石の幅木が回る。 —東京大学HPより—



東大の御守殿門「赤門」は、文政10(1827)年、第12代藩主前田育泰が11代将軍徳川家斉の21女・溶姫やすひめを妻として迎えた際に建てられた。御守殿とは、江戸時代において三位以上の大名に嫁いだ徳川将軍家の姫君の敬称であり、姫君が住む奥御殿のことであった。

御守殿門は丹塗りだったために外観が赤く、そのため「赤門」と呼ばれた。また旧東京医学校本館は、明治9年竣工、その後赤門脇に移され史料編纂掛の建物として用いられ、昭和44年、理学部附属小石川植物園内に移築された。この建物は東京医学校営繕係の設計による擬洋風建築と呼ばれた。桑名市六華苑を設計したコンドルが英国から来日し、東大で教鞭を執るようになる1年前のことである。



写真①

華乃会お買得価格 今月の推奨商品のご紹介

 淡々斎好清風籠炭斗 ¥20,600 → ¥14,000 本歌は作者 田中篁斎 内張 飛来一閑 風炉用の白竹炭斗ですが口造りの下が竹を部分的にねじ透かしになっているので清風入簾来の語も思い出され涼感をさそう組み方になっています	 加藤如水 撫子茶碗 ¥13,800	 加藤如水 団扇茶碗 ¥13,800	 中村秋峰優品 仁清写青楓茶碗 ¥193,000 → ¥135,000
 網代張四方盆 ¥51,500 → ¥36,000	 巽窯 青磁草花菓子鉢 ¥11,500 → ¥8,000	 中村良二 灰釉朝顔茶碗 ¥15,000	 中村良二 灰釉掛分七夕茶碗 ¥15,000 ◆昭和30年生。中村秋峰の弟。中村翠嵐・中村秋峰に師事。
 風炉羽根 孔雀 ¥12,100 → ¥8,400	 風炉羽根 野雁 ¥18,700 → ¥13,000	 風炉羽根 白鳥 ¥11,400 → ¥7,900	

月刊
いつもの
ギャラリーさん
(題字・三輪休和)
104号
2018年6月発行

催事ご案内
6月
9【土】 10【日】
水無月の茶会
茶道具決算蔵出し市
初夏の茶道具正札市

金	1	先負
土	2	仏滅
日	3	大安 休日営業16時まで
月	4	赤口
火	5	先勝
水	6	友引
木	7	先負
金	8	仏滅
土	9	大安 水無月茶会
日	10	赤口 水無月茶会
月	11	先勝
火	12	友引
水	13	先負
木	14	大安
金	15	赤口
土	16	先勝
日	17	友引 定休日
月	18	先負
火	19	仏滅
水	20	大安
木	21	赤口・夏至
金	22	先勝
土	23	友引
日	24	先負 定休日
月	25	仏滅
火	26	大安
水	27	赤口
木	28	先勝
金	29	友引
土	30	先負

編集の窓



夏椿

photo by S,A

夏椿 沙羅の木
開花時期は六月から七月初め。梅雨の頃に開花する。清々しさを感じることから、夏椿によく似ていて、夏に開花することから、その一日花で椿と同じように咲いた花は、沙羅の樹(さらそうじゆ)と呼ばれることもあるが、積入減で有名な「沙羅双樹」は全く別の熱帯樹なので、日本ではあまり育たない。一説に僧侶が日本でも沙羅の樹を、山に入って探したところ、広めたのを見て沙羅双樹と思ひ込み、それを「沙羅の木」と云われた。古くから寺院などの庭に植えられる。庭に

ギャラリー森田ホームページ
http://www.gallery-morita.co.jp/
gallery morita スタッフぶろぐ
http://ameblo.jp/gallerymorita/
https://www.instagram.com/gallery.morita/
Instagram
始めました
■ご不要になりましたお道具など どうぞお売り下さい。
月刊「ギャラリーさん」編集プロジェクト

ご案内
青々ど。去年バツサリと切った庭の草花がまた猫の顔ほとすくすくと育ってきました。